

平成23年度 教育目標の具現化に向けての共通実践事項の自己評価結果(2学期)

評価事項		全学年 保護者の評価								教師の自己評価			
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1学期平均	2学期平均	1学期平均	2学期平均		
かしこく	学校は	1	分かりやすい授業の工夫、改善、充実に努めているか。	4.47	4.10	4.07	3.92	3.98	4.11	4.02	4.11	3.61	3.17
		2	考える力〇表現する力を伸ばす指導に努めているか。	4.43	4.14	4.10	3.81	3.97	4.09	4.00	4.09	3.22	3.11
		3	「読む」「書く」「計算する」などの基礎的な力を付けることに努めているか。	4.54	4.18	4.19	4.03	3.94	4.03	4.09	4.15	3.31	3.50
	家庭は	4	家庭での学習に関心を持ち、習慣化に努めたか。 (低学年:30分、中学年:45分、高学年:60分)	3.99	3.69	3.41	3.21	3.10	3.39	3.43	3.47		
		5	子どもの読書への意欲や関心を高め、読書活動を促すことに努めたか。	3.87	3.15	3.14	2.86	3.10	2.94	3.26	3.17		
やさしく	学校は	1	「道徳の授業」や「心の時間(ソーシャルスキル)」に力を入れている様子が伝わっているか。	4.37	4.05	4.23	3.86	3.91	4.06	3.95	4.08	3.22	3.03
		2	明るいあいさつや返事、時と場にあった言葉遣いができるようにする指導に努めているか。	4.23	4.05	3.94	3.72	3.86	3.87	3.96	3.94	3.61	3.36
		3	いじめを生まない学級経営に努め、早期発見〇早期解決に取り組んでいるか。	4.19	4.10	4.06	3.76	3.94	4.04	4.04	4.02	3.86	3.65
	家庭は	4	家庭内や近所の人たちへのあいさつやきちんとした礼儀作法ができるように努めたか。	3.61	3.83	3.57	3.73	3.64	3.81	3.66	3.70		
		5	人を傷つける言葉を使わないように、言葉遣いの指導に努めたか。	3.74	3.65	3.67	3.64	3.79	3.88	3.71	3.73		
		6	後始末や整理〇整頓をきちんとするよう指導に努めたか。	3.06	3.06	2.95	2.91	2.94	3.13	2.92	3.01		
たくましく	学校は	1	体育の授業の改善〇充実に取り組み、体力づくりの向上に努める様子が伝わっているか。	4.60	4.34	4.31	4.03	4.14	4.25	4.16	4.28	3.08	3.58
		2	登下校や廊下歩行、遊びなどを安全に行う子どもを育てることに努めているか。	4.31	3.87	4.02	3.86	3.85	3.73	4.05	3.94	3.50	3.19
		3	容儀指導やけが〇病気の予防指導等、保健衛生の習慣を身に付けさせることに努めているか。	4.33	4.10	3.94	3.85	3.85	4.08	4.06	4.03	3.28	2.83
	家庭は	4	健康〇体力作りに努めているか。(歩いての登下校や(朝の)運動の声かけ〇励まし等)	4.14	4.12	4.03	3.90	3.93	3.99	3.93	4.02		
		5	虫歯予防、歯周病予防等、子どもの歯の健康の増進に努めたか。	3.88	3.59	3.91	3.75	3.72	3.66	3.83	3.75		
		6	「早寝〇早起き」の指導〇実践に努めたか。	3.88	3.59	3.91	3.75	3.72	3.66	3.83	3.75		

〇所見

<p>〇「学校は」に対する評価が、最も低いもので3.94ポイントで、1学期の値ほぼ同じである。</p> <p>〇授業に対する評価や「心の時間」「道徳に関する指導」「体力作り」「安全指導」に対する評価は、1学期よりも向上している。このまま継続して指導したい。</p> <p>△「あいさつ」「いじめ防止・学級経営」「容儀指導・保健衛生指導」の面での評価が、1学期よりも下がっている。運動会その他多忙な2学期ではあったが、子ども一人一人に目を向けた学級経営が問われていると言える。</p> <p>△「保護者は」の「虫歯予防」「早寝早起き」「読書」の項目の評価が1学期よりも下がっている。学校からの支援を強化しつつも、各家庭の根強い指導にも期待したい。</p>
--

保護者の意見	回答
<p>〇 算数科習熟度別指導・少人数指導について</p> <p>算数科における習熟度別指導及び少人数指導について、「指導者によって子どもの理解度がちがいが、差ができてしまっている。」 「指導者の交替がはやく、子どもが慣れない。」等の御意見をいただきました。</p>	<p>〇これまで本校では、算数の習熟度別指導及び少人数指導により、子どもの学力が全国平均より少し上であるという成果を得てきています。しかし、授業が分からない、算数がおもしろくない等と感じている子どもも見られ、授業時間や休み時間等において個別指導の工夫を行ってきました。</p> <p>これからも、「分からない」場合は、遠慮なく担任に申し出ていただきたいと思いません。算数加配3人と力を合わせて、きめ細かい指導に努めていきたいと思いません。</p> <p>なお、学力の定着のためには家庭学習の習慣化が大切です。習ったことはすぐ復習したり、間違った問題をもう一度やり直しをしたりするなど、家庭でもよろしく願っています。</p>
<p>〇 宿題・休業中の課題・家庭学習について</p> <p>宿題等について 「量が多すぎる。」 「量が少ない。」 「学年内で宿題の量をそろえてほしい。」等の御意見をいただきました。</p>	<p>〇宿題については、家庭学習の習慣化を図るために、各学年の発達段階や実態等にに応じて、質と量を考慮しながら担任が与えています。</p> <p>子どもの実態等により宿題の量が「多い」「少ない」などという個人的な問題については、担任に相談していただき、子どもの学習習慣がしっかりと身につくようにより願っています。</p>

保 護 者 の 意 見	回 答
<p>○ 「心の時間」「道徳」について</p> <p>心の時間について 「ソーシャルスキルは効果的であるので、続けてほしい。」 「心の時間の話題が親子であり、共通理解している。」 等の肯定的な御意見をいただきました。</p> <p>反面、「道徳に力を入れているが、いじめがなくなる。早期発見に努めるべきだ。」 との御意見をいただきました。</p>	<p>○ 少子化や核家族化の影響で、健全な人間関係を結ぶ力を培う機会が減ってきています。そのため、本校では「心の時間」を設定して、人間関係力の向上を図っているのは周知のことと思います。一部に成果が見え始めている様子が伺え、大変うれしく思います。職員もさらに研鑽を深め、実践して参ります。</p> <p>○ いじめについては、「いじめとはなにか」「いじめられたらどうしたらよいか」等について指導しています。いちばん大切なことは、いじめを見て見ぬふりをする傍観者をなくし、みんなでいじめは絶対にしてはいけないという正義感を高めることです。「うちの子どもの様子がおかしい」「いじめられているのではないか」等、心配なことがありましたら、すぐに担任に御相談ください。</p>
<p>○ あいさつについて</p> <p>あいさつについては、 「素直にあいさつできるようにので、続けてほしい」 等の肯定的な御意見もありましたが、 「進んであいさつできるようにしてほしい」 「校内で保護者に対するあいさつが不十分」 「すべての先生が手本となるような明るいあいさつをしてほしい」 「地域でのあいさつが不十分」 等の御意見をいただきました。</p>	<p>○ あいさつについては、1学期と同様、よい評価とそうでない評価が混在しているようです。1学期の学校評価の結果を受けて、指導に努めてまいりました。結果、数値では全体として向上してきたことを示していますが、まだまだ足りないところも多いようです。</p> <p>今後の指導としては、「学校でも他の大人にあいさつできていない」という事実を重く受け止め、「まず、学校でのあいさつの徹底を図る。」ことを当面の目標として実践していきたく思います。しかしながら、あいさつは学校の指導のみで良くなるものではありません。学校・地域・保護者を含めた私たち大人全体が、自覚を持って取り組んでいくことが肝要だと考えます。</p> <p>学校でも、早速取り組んでいきますので、御協力をお願いいたします。</p>
<p>○ いじめ・不登校について</p> <p>いじめや不登校について 「しっかりと対処できているのか、学校の考えを聞きたい」 「いじめ防止・早期発見・早期解決に努めてほしい」 等、学校側の指導・支援態勢についての御質問がありました。</p> <p>また、 「学校での問題行動を知らせてもらって、家庭でしつけができてよかった」 等の御感想もいただきました。</p>	<p>○ 「いじめはあるもの」と考え、日々指導を行ってまいりましたが、一部未熟な子どもが、心ない言動で他を傷つける事案が見られました。</p> <p>学校としては、これを重く受け止め、事件の情報を収集すると同時に、全校朝会や授業等できるかぎりの場を使って指導いたしました。未だ対象者が分からず、完全解決には至っていませんが、再発を防ぐと共に、子ども全体に対する心の指導の深化を図ってまいります。今回、発生してすぐに全校的な取組で対処いたしました。防止の観点から、さらに指導の充実を図ってまいります。</p>
<p>○ 登下校の交通安全・態度について</p> <p>特に下校時の行動について 「車道に広がっている」 「車をよけようとする」 等の御指摘がなされました。</p> <p>また、 「壁に落書きをされた。指導してほしい。」 という訴えもありました。</p>	<p>○ 登下校の仕方については、1学期に引き続き、学校でも繰り返し指導していきます。危険な状況が見られたときは、今後とも保護者も注意していただくとともに、学校にも御連絡ください。見逃さず、その場で指導することが大切です。3学期の学級PTA等でも話し合い、学校、家庭が一つになって指導を徹底するという気運を盛り上げていきましょう。</p>
<p>○ 授業参観・学級PTAについて</p> <p>授業参観では、 「授業中の保護者の私語が残念」 という御指摘がありました。</p> <p>学級PTAでは、 「出席率が低く、残念。学校側も出席率をあげる手立てを」 という御意見をいただきました。</p>	<p>○ 授業参観中の私語等は、大人が範を示すべきことです。子どもたちは大人を見ています。自戒されるようお願いいたします。</p> <p>○ 学級PTAの出席率は、12月の学級PTAが最も低くなりました。もともと学級PTAは学級の子どもを学級の保護者全体で支援し、健全に伸びる環境を整える事が目的です。そのため、今年度はテーマに添った話し合いを重点的に行うなど、学級PTAの改善を進めてまいりました。残念ながら、出席率の向上にはつながりませんでした。今後とも日程や会の内容など工夫をして、出席率のある充実した学級PTAの創造に努めてまいります。</p>
<p>○ 学校評価について</p> <p>学校評価については、 「学校のことは見えない、わからない。評価しにくい。」 「評価結果をどのように生かしているのか」 等の御意見をいただきました。</p>	<p>○ 1学期いただいた御意見はすべて検討し、改善充実をめざして、これまで取り組んでまいりました。現在進行中の課題もあり、大きな変化は見られなくても、確実に変化しています。</p> <p>学力向上、いじめ、不登校問題等年々課題が深刻になっています。課題解決のためには、学校、家庭、地域がばらばらではなく、コミュニケーションを十分にとり、一体となって推進することが大切になります。</p> <p>今後とも課題を明確にし、お互いに批判し合う関係ではなく、協力し支え合う良好な信頼関係を確立し、子どものために心をつなげていきたいと思います。</p> <p>なお、評価の方法や結果等についてはできるだけ分かりやすくできるように、今後さらに検討していきたく思います。</p>
<p>○ 学校(その他)について</p> <p>その他の御意見では、 「行事の度にアンケートをとってほしい」「購買部では不必要な物は売らないでほしい」「土曜日を学校(授業)にしてほしい」「個に応じた(個の可能性をのばす)教育をしてほしい」「人権・プライバシーを守ってほしい」 等、様々な御意見がありました。</p>	<p>○ 行事アンケートは、学級PTAであげられた意見を、PTA常任運営委員会で検討する形で意見の吸い上げを行っています。お気づきの点がございましたら、遠慮無く担任や学級役員までお知らせください。</p> <p>○ 購買部では、学校に不必要な物販売していないはずですが、不必要な物の具体的な内容を担任までお知らせください。</p> <p>○ 土曜日の授業については、県の条例の改正が必要ですが、</p> <p>○ 個に応じた教育や人権・プライバシーに関しては、重要な内容ですので、細心の注意を払って教育実践してまいります。お気づきの点がありましたら、お知らせください。個別に調査・検討し、対処いたします。</p>
<p>○ 他の保護者や地域に関して</p> <p>「おみこしパレード(あいご)の応援を住宅地域でもしてほしい」 「登下校の時に周りの大人が顔を見せてはどうか」 「家庭でも運動・スポーツの取り組みをしてはどうか」 「授業態度が悪い子どもを注意しない親がいる」 「遊んでいるときの子どもたちの言葉遣いが気になる」 等の御意見が寄せられました。</p>	<p>○ 「子どもを学校・地域・保護者の大人全体で育てる」「共通の認識で一斉に指導する」という理念からの御意見と拝察いたします。みんながこのような気持ちで取り組めば、きっとすばらしい西陵の教育が実現できると考えます。ともに、手を取り合って、子どもの健全育成のため取り組んでまいりましょう。</p> <p>御理解と御支援を賜りますようお願いいたします。</p>